

八王子長房緑地保全地域のナラ枯れ状況

2022年8月21日

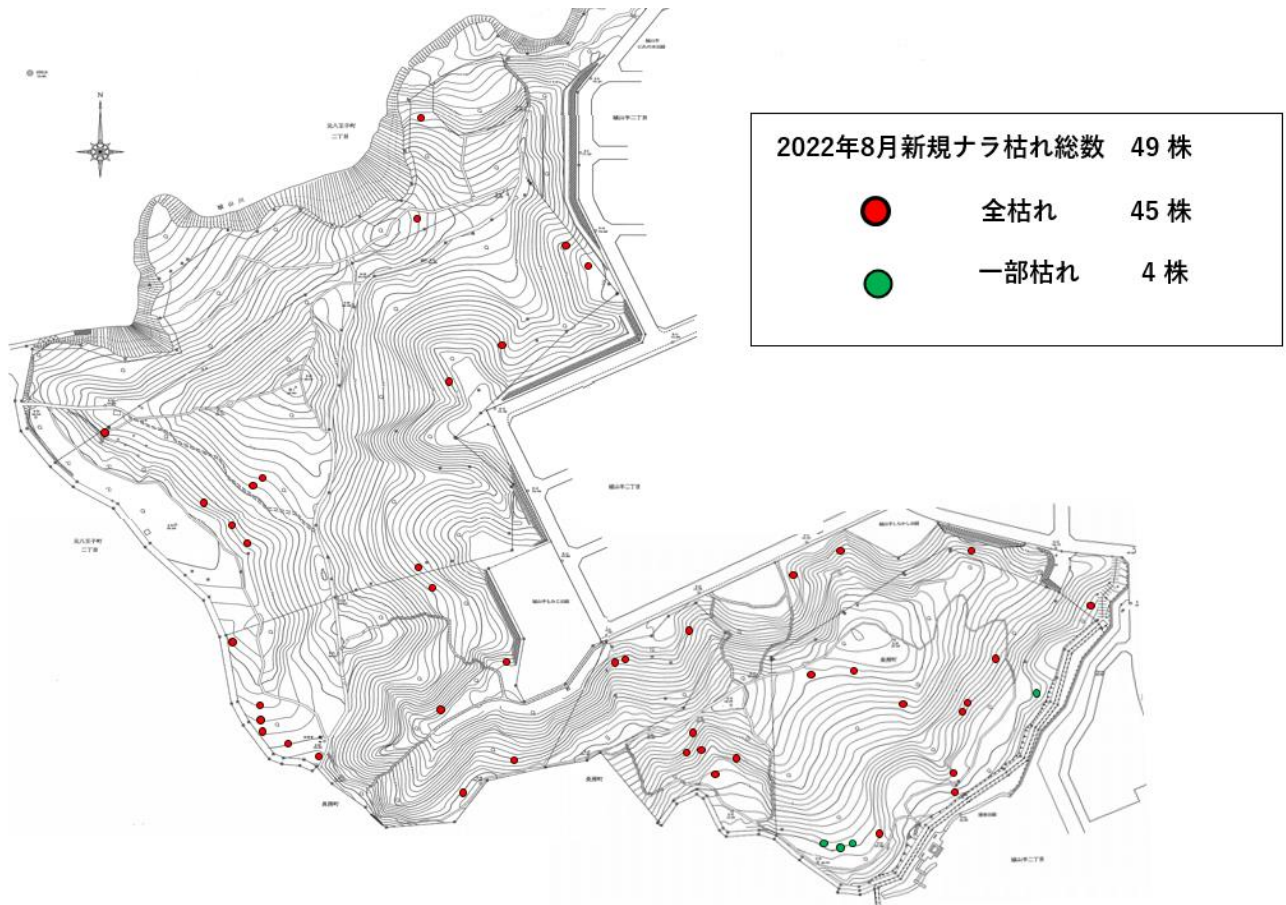
城山手親林の会

長房緑地保全地域におけるナラ枯れ調査は初めてナラ枯れを確認した2020年8月に1回目を実施、2021年8月に2回目を行い、2022年8月は3回目の調査になります。

カシナガの ATTACK によって春から始まるナラ枯れを最も目視しやすい8月に調査を行っています。

今後更に進行し現在の“一部枯れ”が“全枯れ”となることもあります。他の緑地保全活動との兼ね合いから例年8月に継続調査を行っています。

1： 2022年8月調査結果



新規ナラ枯れ株数の変移

| | 2020年8月 | 2021年8月 | 2022年8月 |
|-----------|---------|---------|---------|
| 全枯れ株 | 40 | 182 | 45 |
| 一部・半枯れ株 | 13 | 4 | 4 |
| 総株数 | 53 | 186 | 49 |
| 2020年との比較 | 1 | 3.5 | 0.9 |

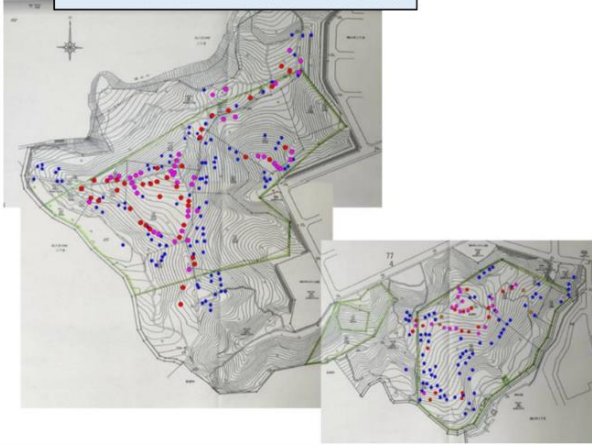
2022年8月に調査したナラ枯れの概要は以下のようになりました。

- ・新規ナラ枯れの発生数は2021年に比べ大きく減少し、2020年の株数以下まで減少した。
- ・2020～2021年に“一部枯れや半枯れ”で止まった株でも2022年“全枯れ”まで進行した例が複数確認された。
- ・カシナガは全枯れとならない限り何年も同じ株にアタックする。
- ・2022年は直径25センチ以下の小～中径木もアタックされた。
- ・保全地域ではカシナガトラップの設置、アタックされた株へのシート巻き、全枯れ株の伐採等を実施
- ・それら対策の相乗効果によって新規ナラ枯れが減少した可能性がある。

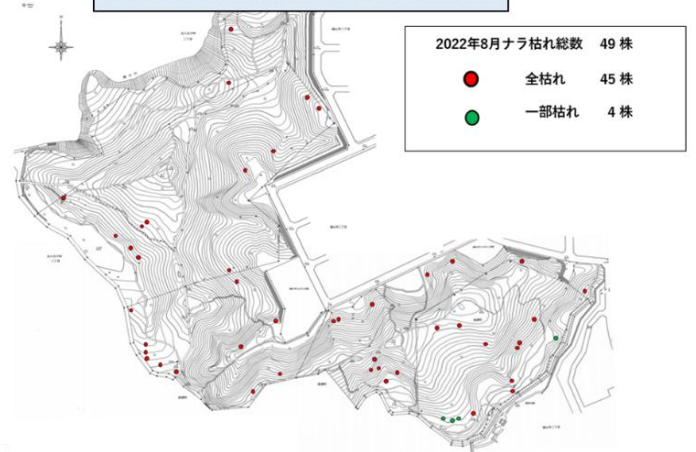
2：補足資料

ナラ枯れ確認図

2021年8月ナラ枯れ確認図



2022年8月新規ナラ枯れ確認図



長房緑地保全地域で2021～2022年に実施したナラ枯れ対策

カシナガトラップ



シート巻きで侵入と飛翔の防御



2022年1月～3月 ナラ枯れ伐採作業地域



以上